

Yahoo! JAPAN、IoT（Internet of Things）事業者に向けた開発支援プラットフォームサービスを来春より提供開始

～ ワイモバイルとも連携し、来るIoT時代もITの力で「課題解決」を～

ヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）は、IoT事業者の開発を支援するプラットフォームサービス（以下、本プラットフォーム）の提供を来春より開始いたします。

昨今、自動車、テレビや冷蔵庫などの家電製品、電化製品に限らないさまざまなモノ（製品）とインターネットをつなげて、新しいサービスや価値を創出するIoT（Internet of Things）分野に注目が集まっています。2020年には世界のIoT市場規模は約350兆円に拡大し、対応する端末は300億デバイス（※）にもなると言われるこの分野ですが、IoT製品を生み出すには、ウェブサービスの開発や連携、サーバー構築や運用など、ハードウェア開発以外の多様な開発技術が必要となり、スムーズな製品開発や新規事業者の参入に障壁となっています。

本プラットフォームでは、主にIoT製品のハードウェア事業者に向けて、製品とウェブサービスの連携をしやすくなるよう、さまざまなサービスやAPIを公開していきます。これにより大手メーカーからスタートアップ企業まで、多くの事業者の製品開発や新規参入を支援し、IoT分野のさらなる発展に貢献していきます。公開するAPIは、Yahoo! JAPANの各種サービスだけでなく、国内外の多くのインターネット事業者からも協力を募り、オープンにインターネットにつながる製品とサービスが集まるプラットフォームを目指していきます。

なお、ワイモバイル株式会社とも連携し、本プラットフォームを活用したIoT製品のワイモバイルショップでの販売や、ワイモバイルのネットワークを使ってIoT製品をインターネットに接続しやすくするなど、開発面以外でも事業者をサポートできる仕組みを提供していきます。

Yahoo! JAPANでは、ITを使って人や社会の課題を解決していく「課題解決エンジン」として、現在はスマートデバイスでのサービス展開に注力しております。今後、本プラットフォームの提供をはじめ、新たに到来するであろうIoT時代においてもITの力を活用した「課題解決」を進めてまいります。

※出典：IDC Japan株式会社「世界IoT（Internet of Things）市場予測を発表」
<http://www.idcjapan.co.jp/Press/Current/20141118Apr.html>